

【追加】2－5. 履修条件の例外科目一覧(2016年度「科目登録の手引き」p37)

対象科目	例外履修条件	例外の理由等
金融データ解析 1	2015年度以前に「金融データ解析実習 1」の単位を修得している場合は履修できません。	科目名称変更のため
金融データ解析 2	2015年度以前に「金融データ解析実習 2」の単位を修得している場合は履修できません。	
金融商品取引法 1	2015年度以前に「金融商品取引法Ⅰ」の単位を修得している場合は履修できません。	履修条件変更のため
金融商品取引法 2	2015年度以前に「金融商品取引法Ⅱ」の単位を修得している場合は履修できません。	
哲学総論 A	2015年度以前に「哲学総論」の単位を修得している場合は履修できません。	クラス数増加のため
哲学総論 B		
西洋哲学 A	2015年度以前に「西洋哲学」の単位を修得している場合は履修できません。	クラス数増加のため
西洋哲学 B		
環境表現論Ⅰ	2015年度以前に「環境表現論Ⅰ A」もしくは「環境表現論Ⅰ B」の単位を修得している場合は履修できません。	クラス数減少のため
簿記 A	2015年度以前に「簿記Ⅰ A」もしくは「簿記Ⅰ B」の単位を修得している場合は履修できません。	科目名称変更のため
簿記 B		
労働問題 1	2015年度以前に「労働問題Ⅰ」の単位を修得している場合は履修できません。	履修条件変更のため
労働問題 2	2015年度以前に「労働問題Ⅱ」の単位を修得している場合は履修できません。	
社会デザイン実習 1	2015年度以前に「社会デザイン実習Ⅰ A」もしくは「社会デザイン実習Ⅰ B」の単位を修得している場合は履修できません。	クラス数減少のため
経営のための経済学	2015年度以前に「経営のための経済学Ⅰ」と「経営のための経済学Ⅱ」の両方の単位を修得している場合は履修できません。	科目設置形態の変更
産業組織論	2015年度以前に「産業組織論Ⅰ」と「産業組織論Ⅱ」の両方の単位を修得している場合は履修できません。	科目設置形態の変更
マクロ経済学	2015年度以前に「マクロ経済学Ⅰ」と「マクロ経済学Ⅱ」の両方の単位を修得している場合は履修できません。	科目設置形態の変更
応用マクロ経済学	2015年度以前に「応用マクロ経済学Ⅰ」と「応用マクロ経済学Ⅱ」の両方の単位を修得している場合は履修できません。	科目設置形態の変更